

チリ：ボリチ次期政権が閣僚を発表

女性 14 人、男性 10 人、平均年齢 49 歳

「ラテンアメリカの政治経済」（1月23日）より了解を得て転載

<https://ameblo.jp/guevaristajapones/entry-12722655650.html>

チリのガブリエル・ボリチ次期大統領は、1月21日、横断的な政府を推進するという約束を実行し、閣僚人事を発表したが、女性が多数となり、3分の1は無所属のリーダーで、平均年齢は若かった。イスキア・シチェス医師は戦略的な閣僚である内務相に指名され、共産党のカミラ・バジェホ下院議員は内閣長官で、この2人はもっとも強硬なフェミニストとして知られる。

「エスパシオ・プブリコ」研究所の執行責任者ピア・ムンダカは、『パヒナ12』とのインタビューで強調した：「この内閣は能力のある人物を集め、またそれぞれ役職に関係するテーマについて、経験も証明されている。しかしもっとも重要なことがあり、それは着地点がどうなるか、またその分野の挑戦をどのように前に進めるかだ」。一方「チリ政治学ネット」(RPC)のメンバーであるフリエタ・スアレス・カオは、新政府は期待に応え、「その職務のテーマを理解し、専門家ではあるがテクノクラートではない人々の内閣をこしらえた」と主張する。

12月19日夜の勝利演説で、このときボリチは極右ホセ・アントニオ・カストとの決戦投票で55.8%の票を獲得し勝利したのだが、段階的な社会変革を実現すると約束した。かれは新しい政府を構成するにあたりその約束を実行し、それには財務大臣に、市場の受けも良い中央銀行前総裁、マリオ・マルセルを指名したことも含まれる。

新しい内閣の多様性をしめすものの一つとして、国防大臣にはサルバドル・アジェンデ元大統領の孫、マヤ・フェルナンデス・アジェンデ下院議員が指名された。さらに次期大統領は中心的な職務を、もっとも近い人物たちで固めた。

カミラ・バジェホをスポークスマンに指名したのに続き、ジョルジオ・ジャクソンを大統領府長官に指名、かれが議会との調整にあたる。かれら2人は、ポリチとともに学生運動のリーダーであり、2011年の公共の、無料の、質の高い教育を要求した、抗議行動の先頭に立っていた。

亀裂を克服する内閣

ポリチは少数に断片化され多数派ではない議会のなかで就任することになる。したがって広範な同盟を模索することになる。ポリチはチリの歴史のなかでもっとも若い大統領になるだけでなく、1990年の民主主義回復以後この国を指導してきた伝統政党に属していない、初めての大統領でもある。サンティアゴ大学の政治学者マルセロ・メジャによると、ポリチは「変革を引っ張っていこうとする新しい政党と、伝統政党とのあいだのチリ社会の分断を埋めようとするだろう」

この目的のために次期大統領は24人の内閣のうち、14人を女性に、平均年齢を49歳のものにした。カミラ・バジェホは、軍事独裁(1973-1990)のあいだに樹立された新自由主義モデルの、政府による解体の取り組みを伝える責任者になるだろう。また欧州のような福祉モデルのために、国家の役割を拡大する。未来のスポークスマンは、1990年の民主回復後共産主義者として初めて、政府の中核となる政治委員会(CP)のメンバーになる。

フェミニズムと若者

もう一つの大きな新しさとしては、女性省大臣が政治委員会に含まれるということである。これはポリチの勝利には、フェミニスト団体が重要な役割を果たしたことの象徴である。この女性相にはアントニア・オレジャーナが就任する。彼女はチリ大学のジャーナリストで、「女性にたいする暴力に反対するチリ・ネットワーク」(RCVM)の元メンバーであり、また彼女はこの内閣でもっとも若い32歳である。

ムンダカによると、内閣に多数の女性が指名されたことは「大きなしるし」であるが、「なによりも異なった社会を反映しており、多くの女性が数十年間の

あいだ、犠牲者としてその格差を縮める努力を続けてきた結果である」。一方でスアレス・カオが『パヒナ 12』紙に強調するのは、「彼女たちは女性であるだけでなくフェミニストです。彼女たちは持続するジェンダーの平等のために従事してきた」。

アントニア・ウレホラは尊敬される弁護士で、米州人権委員会(CIDH)の委員長でもあったが、左へと方向転換するラテンアメリカのなかで、外務大臣として重要な役割を果たす。次期大統領はベネズエラやニカラグアにたいする異議申し立てを、隠そうとはしていない。一方イスキア・シチェスは歴史上初めて内務大臣となる女性である。この省は政治的に最も重く、治安と他の省を結びつける役割を果たす。

シチェス 35 歳はチリ大学の外科医であり、2017 年には女性として初めて、医師会会長となった。この立場から COVID-19 のパンデミックとの闘いに取り組んだ。また彼女はボリチの大統領選挙において、キーパーソンとなった。ムンダカが強調するところでは、「シチェスは内相を引き受けるにあたって、勇気と約束をしめた。この職務は複雑で歴史的に不人気であるにも関わらず。彼女の政治的能力は、過去の挑戦での行動で証明されている」。

しかしながらメジャの方は、そのように見做すには、より慎重である。シチェスは無所属の立場であり、彼女は大きな圧力に直面するだろうと。「マプチェ民族との紛争は、そのほかのテーマも、非常に消耗させるものだ。彼女の政策には、もちろん議会議員団の支援が必要だ。彼女の無所属の立場ではそれは難しい」。

経済チームは市場を落ち着かせる

財務相には中央銀行総裁であるマリオ・マルセルが選ばれた。かれは財界からは尊敬される人物であり、このセクターは選挙戦のあいだ、ボリチを激しく批判してきた。かれ自身は無所属であるが、社会主義に近しくはある（2000 年から 2006 年のリカルド・ラゴス政権で、予算の責任者であった）。マルセルは 2021 年この 14 年間でもっとも高いインフレ 7.2%であった-の危機からの回復

で、経済の指導をおこなった。

メジャはかれを蔵相に指名したことについて、「実際のところ民間セクターにたいするウイंकだった」。「金融政策と今後数年間のチリ税務政策への不確実性を軽減した」。スアレス・カオの方は、マルセルの指名について、それはポリチの選挙戦での主要な旗印の何かを下ろすものではないと主張する：「なぜなら今日カミラ・バジェホが、選挙戦を勝利させた「尊厳ある合意」の任務が何であるか、内閣すべてが理解していると語ったのだから」。

議会内議員団を加える使命

ポリチの右腕ジョルジオ・ジャクソンは大統領府長官となるが、これは議会との関係が職務となる。3月以降の議会において少数派であり、「尊厳ある合意」（拡大戦線と共産党による共闘組織で、ポリチを選挙戦で勝利させた）は下院で37議席、上院では5議席しかない。統治性を強固にするためには、次期大統領は第1回投票では支援を受けなかった中道左派の伝統政党を、内閣に入れなければならなかった。

こうしたことから打倒されたサルバドル・アジェンデ元大統領の孫マヤ・フェルナンデス〔チリ社会党〕が国防相となった。上院の社会党員カルロス・モンテスが住宅・都会相；急進党員マルセラ・エルナンドが鉱山相；自由党員ファン・カルロス・ガルシアが公共事業相になったなど。チリ・カトリカ大学の政治学者ピア・ムンダカは言う。チリにおいて重要な変革をおこなうことの期待を理解するなら、「可能な限り広範な対話の用意がなければならない。そうでないならば、現状維持の批判を受けることになるだろう」。

(通算 3549) (Pagina12 の Guido Vassallo による)



(国立歴史博物館前での閣僚紹介。foto:Telam)
